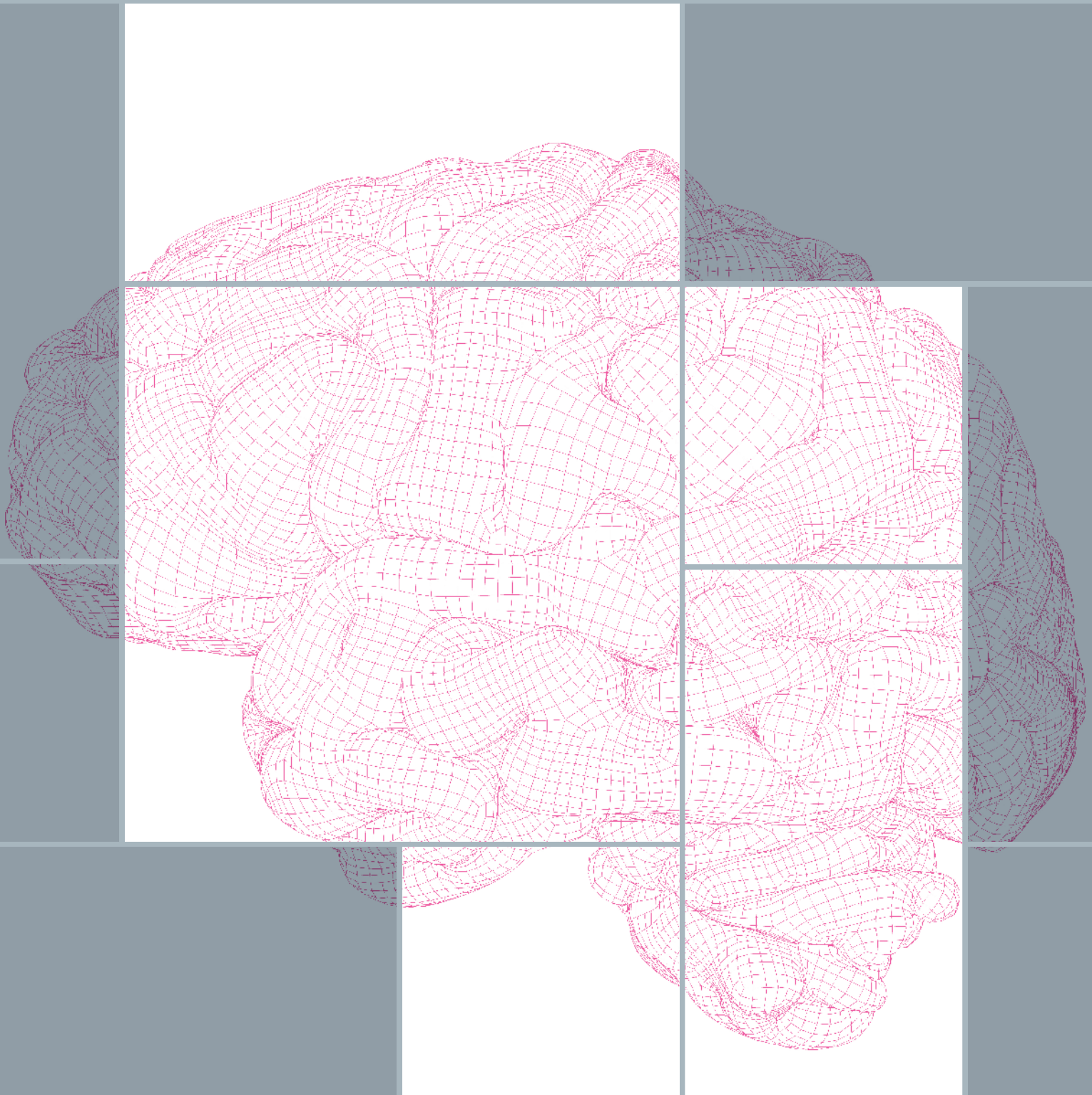


d dura wave

合成吸収性人工硬膜 **デュラウェーブ**®



使用目的又は効果

本品の使用目的は脳硬膜欠損部の補綴です。

特徴

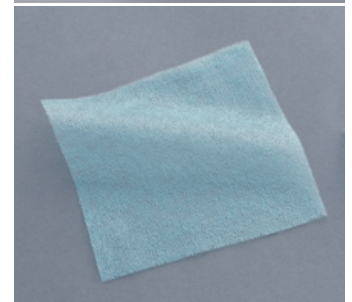
デュラウェーブはポリグリコール酸により構成された滅菌済みの脳硬膜補綴材であり、以下の特徴を有します。

- ・脳硬膜欠損部に生体組織接着剤を併用して補綴する、無縫合タイプの合成吸収性人工硬膜として用います。
- ・特殊加工により若干の伸縮性を付与した不織布です。

販売名	品番	サイズ(mm)	入数	付属品製品名	内容物
デュラウェーブ	DW-S0505G	50×50	1ヶ	デュラウェーブ 測定キット	<ul style="list-style-type: none"> ・方眼シール ・マーカー ・メジャー ・滅菌内袋
	DW-S0510G	50×100	1ヶ		
	DW-S1010G	100×100	1ヶ		

承認番号：22800BZX00404000
一般的名称：合成人工硬膜

※測定キットはデュラウェーブの付属品です。
単体での販売は行っておりません。
品目番号：26B1X00010000033、一般的名称：創傷面積測定器

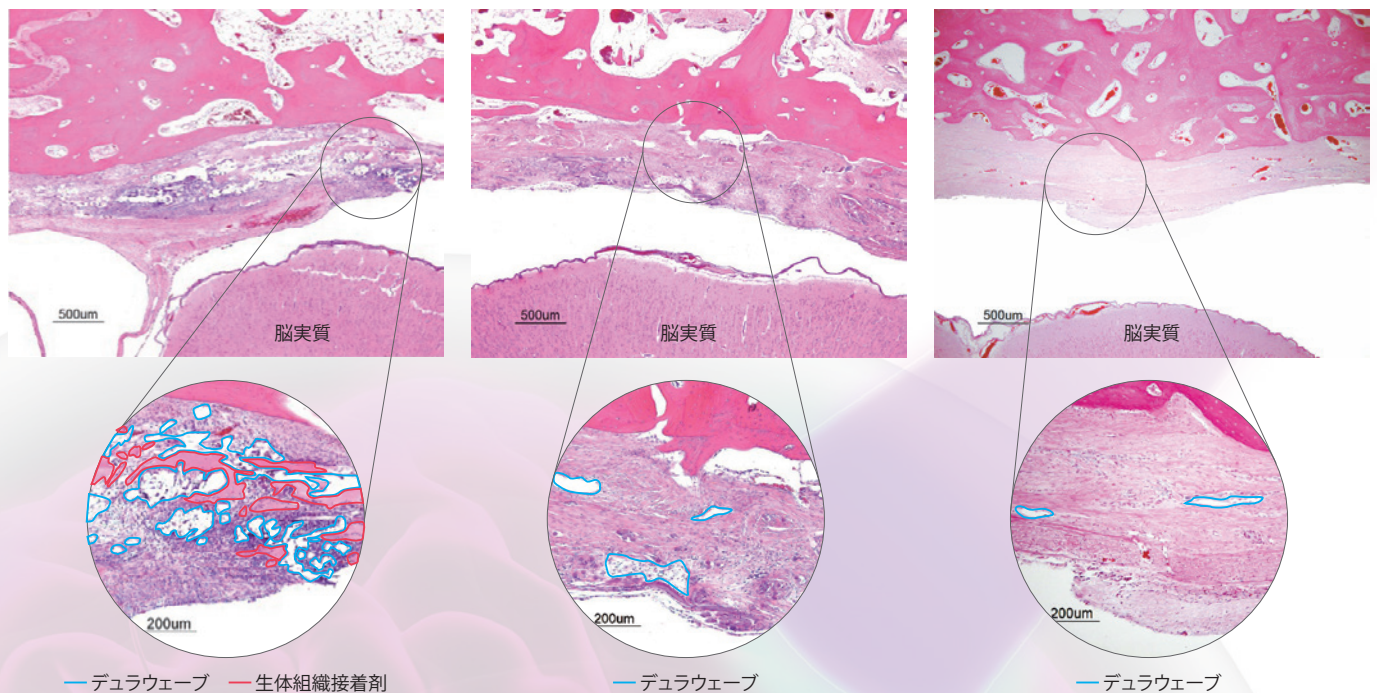


作用機序

本品は、加水分解により徐々に分子量、強度が低下していきます。強度がほとんど無くなった後に小片化、代謝され補綴部より消失します。生体組織接着剤を併用することで、初期には代用硬膜として働きます。その後再生組織の足場となり、最終的に自家組織に置換されます。

組織写真

イヌを用いて開頭後に硬膜を欠損させ、欠損部をデュラウェーブにて補綴しました。以下の写真はデュラウェーブ貼付部分のHE染色の結果です(ゲンゼ社内データ)。



— デュラウェーブ — 生体組織接着剤

— デュラウェーブ

— デュラウェーブ

検体1の貼付1週間後検査時

デュラウェーブへの細胞浸潤がみられます。デュラウェーブ及び生体組織接着剤は、依然として残留を確認できます。

検体2の貼付4週間後検査時

デュラウェーブへの細胞浸潤が明らかであり、新生組織の繊維化が進んでおり、硬膜様組織への置換が進行していることが伺えます。生体組織接着剤は消失し、デュラウェーブは残留を確認できます。

検体3の貼付12週間後検査時

4週目と比べてより一層組織が繊維化し、硬膜様組織が形成されていることがわかります。デュラウェーブは僅かに残っているものの、その大部分が消失しています。